



.....
工事タイムス

——鐵道と軌道工事——

■**阪急高架線** 開通式は七月三日舉行された、梅田十三間の延長1哩40鎖、總工費6,550,000圓 1呎當り複線 920圓を要した偉觀堂々たるものである。

■**上野大宮間** 複々線工事の前提として豫算3,500,000圓で着手せる荒川鐵橋工事は間組の請負で目下盛に工事中であるが竣成は來春五月である、本工事は現在の橋桁が震災で危険となつてゐるため、其上流に新橋を架け基礎橋脚を大河戸博士發明の井筒沈下機で極堅牢に築く。

■**東京驛歩廊改造** 震災以來バラツクの儘だつた東京驛第三、第四の發着ホームが愈八月十五日から改築される、現在の鐵柱を3尺切下げ屋根は最新式の鐵骨を以て組み、兩ホームを連絡せしめて降雨にも乗客が濡れない様にする、工費 300,000圓。

■**トンネル内の鋪裝工事** 鐵道省工務局では來年から全國のトンネル總延長1,000,000尺以上に尺當り20圓位の鋪裝工事をする事になつた。トンネル内の鋪裝は日本としては初めての事で、保安維持と經濟との爲である。

■**京濱間鶴見驛** は八月から工費1,000,000圓で改築される事になつた。新驛は 200,000 坪の廣さを有する大驛となる。

■**三等寢臺車** 鐵道省では八月十五日限りピーエール輕便枕を廢止したことであり、豫て車輛製作専門家に託して設計中の三等客専用寢臺車の實現を急いでゐる。

——建築工事と材料——

■**世界中から懸賞募集する** ジェネーヴの平和聯盟會館の設計は愈々今回各國に向つて規程を發表したが、建築専門家以外からも相當應募者がある見込である。規程によると、會館は總ての機關を最も現代的に且つ最も實用的に容るべきもので、様式及び外觀は廿世紀の平和的理想を象徴すべく、敷地は、ジ

ェネーヴ、ローザンヌ間の大道路に面しそれより緩やかな斜面をなしてジェネーヴ湖畔に到る地域で兩面にはモンブランを眺め風景絶佳である。

一、建物 二部に分つ(總會理事會々場と事務局)

一、建設費 千三百萬瑞貨法(邦貨一圓は瑞貨二法四〇として約五百四十萬圓)を超へざるものとす。

一、應募資格 聯盟國(現在五十五ヶ國)の國民に限る。

一、賞金 一等一名(三萬瑞法) 二等二名(二萬五千法宛) 三等一名(二萬法) 四等及五等各一萬五千法 六等七等各五千法尙は選外佳作には二千五百法を超えざる賞金を與える。

一、當選設計の發表 當選設計は二週以内の期間一般に觀覽せしめる。

一、審査委員 委員長オルタ氏(白耳義)外委員八名。

一、締切期日 大正十六年(一九二七年)一月廿五日迄に、應募設計圖案をスイス國ジェネーヴ市國際聯盟事務總長宛に發送を了しなければならぬ、そしてたとへ一月廿六日以前に發送されたものでも三月卅一日以後に到着したものは無効

一、附屬書 (詳細は芝區協調會館内國際聯盟東京支局へ照會の事)

■**都市不良住宅改善** の第一著として内務省では同潤會の手で東京深川猿江のトンネル長屋を取毀して三階建鐵筋コンクリートのアパート六棟を建設する敷地 1,000 坪、工費2,700,000圓。

■**大阪市美術館** が明年度から天王寺茶臼山住友本邸内に建設される、鐵筋コンクリート、地階の上に二階建、一部は三階建とし、總延坪 3,600 坪、工費 800,000 圓。

■**内務省本建** 築大藏省では明年度豫算に内務省の建設費を計上に決定した、敷地延坪 13,000坪、總計 8,710,000圓、坪當り 670圓、三ヶ年繼續で、地階とも六階建の鐵骨鐵筋コンクリート建、廊下及應接間の割合は總坪数の四割五分の豫定であると。

■**「伊勢へ詣れば お多賀へ參れ。お伊勢お多賀の子でござる」**の滋賀縣犬上郡多賀村の官幣大社多賀神社は今回境内諸建築の大整理を實行する、内務省の大江、角南兩技師が囑託され、縣の西崎技師監督で經費 700,000 圓、數ヶ年の繼續事業とする。

■**離宮御用邸整理** 宮内省は全國の離宮、御用邸の

大整理を斷行すべく立案中で、宮の下、小田原、鎌倉、伊香保の四御用邸は廢止、名古屋及武庫の二離宮は懸案中である。

■**静岡御用邸** は關西方面御行幸啓の途次に於る御駐泊所として保存改修を加へ、葉山御用邸は兩陛下の御専用、沼津は東宮兩殿下の御用に當てさせられる。

■**伊勢御用邸新築** 宮内省は此大整理を斷行する一方、伊勢大廟近く渡會郡四郷村に 4,000 坪の御用邸を十八年十月迄に竣成の豫定。

■**建築材料續落** 七月中の指數は前月に比し 1 の低落を示した、内譯は次の通り。

	7月	6月	前年7月
割栗、砂、砂利	298	305	360
セメント	182	182	182
煉瓦	191	200	207
石材	344	229	397
鐵物	128	131	146
亞鉛鍍鐵平板及生子板	136	136	136
銅コーベル板	142	140	147
家根(瓦、スレート)石綿盤	189	189	183
硝子	163	165	208
杭及梁松丸太	316	316	358
長杉丸太	245	245	300
押角(杉、松エゾ松)	323	325	340
葉柄(杉、松)	253	253	257
松挽立小屋材	288	289	280
米松角材	123	123	137
杉丸太	400	400	429
檜丸太	320	320	400
平均	237	238	264

右は大正三年一月の平均相場を 100 として算出したもので、これを最高大正九年四月の平均相場をとせば七月の平均指は 51 となる。

——港灣運河工事——

■**資本金一億圓** の築港會社が淺野總一郎、安田善次郎氏其他知名の實業家により創立される事になった、事業計劃の工事箇所は内地より北海道、朝鮮及び上海に及ぶ大規模のものである。

■**三井物産築港計畫** 同社の神奈川縣鶴見及大阪櫻島に於ける自家用築港計畫中、鶴見の分は着々進捗し海面の深渡は二十三四尺迄に及び目下引込線其他附屬工事の設計中であるが、今回更に隣接埋立地約

30,000 坪の買収を契約した。尙大阪の分は大阪市より埋立地約 20,000 坪の権利讓渡の契約を結んだが未だ著工には至らぬ、兩港竣工の暁は現在横濱、神戸兩港に於ける同社荷扱の全部を茲に集中することになる。

■**バツトレスウォール** として有名なる横濱港の擴張工事岸壁は岡部博士の手により既に 200 餘間の竣工を見たが、尙ほ 12 米突岸壁のケーソン工事も近く着手して目下二組を製作中なるが、八月二十五日頃第一回の型枠外しに着手の由。

■**宇品港修築計畫** 先頃顧問原田工學博士實測の結果決定した同計畫の概要、先づ御幸橋より眼鏡橋に至る長 1,320 間、幅 50 間、吉島町沖 397,000 坪、及江波沖 500,000 坪を埋立て繫船壁とし、其間に幅 200 間及 100 間の六運河を開設し、更に宇品西海岸より西に 250 間、江波沖埋立地より東南に 530 間の突堤を築きその先端に幅 100 間の港口を設ける、なほ前記新築船壁の内側には引込線及倉庫等を設備する。

■**三浦半島横斷** の運河を小林逗子町長が計畫中、相模灣から東京灣へ從來の航程 14 時間を 2 時間に短縮するため。

——電氣工事——

■**朝鮮水電工事** 入札同社第一工區工事は 2,599,516 圓にて松本組に落札六月契約決定、第二工區は 2,425,200 圓にして長門組に落札六月契約決定、第三工區は 2,410,000 圓にて間組に落札の由。

■**東洋一の無線局** 日本無線電信會社は世界各國の電波を受ける大受信局建設のため此程埼玉縣入間郡福岡村地内に敷地 12,000 坪を買収、建設費總額は約 1,000,000 圓、明後年三月中に完成の豫定。

■**風車利用** の發電所が千葉縣夷隅郡總野村の君塚氏により海拔 600 尺の持山の上に出來た、我國最初の工事で發電機は直流 50 ボルト $1/2$ キロワットの點燈用である。

■**鐵道省二變電所** 武藏境に 800,000 圓で 6,000 キロ、八王子附近にも 700,000 圓で 6,000 キロの變電所を十六年から着工する、十七年四月までに八王子までの電化に應ずるためである。

■**東京市電氣局** の地下鐵工事は路線地質調査費 50 萬圓を起債認可申請する由。

■**工政會** では七月十九日電力統制問題に關し斯道の先輩を會して懇談する處あつた。

—人事會合—

■**中華民國鐵道顧問** 平井晴二郎氏の後任は現朝鮮鐵道局長大村卓一氏との噂もあつたが、前の鐵道技監工學博士島安次郎氏に決する由、

■**田中讓氏當選** 大阪市の衆議院議員補缺選舉に於て實業同志會の田中氏は優勝を以て再び當選した。又同會の羽室氏は第二區より當選した。田中氏は關西建築業界の功勞者で、羽室氏は製鋼所長である。

■**木田保三氏** 木田組社長の同氏は七月十四日出發歐米視察の途に上つた。

■**直木倫太郎博士** は大阪市に今度新設せらるゝ土木局長に就任せられるとの噂がある。

■**安藝杏一博士** は港灣其他の視察を終へて七月朝鮮滿洲の旅行より歸られた。

■**秋田建設事務所長** たる鐵道技師淺間逸雄氏は七月九日工事視察の途中、山形縣小岡本村にて自働車諸共崖下に轉落し、重傷を負ひ重態である由。

■**復興局工務課長** たる安倍邦衛氏は辭任し後任に神奈川縣土木課長たる高田景氏が轉ずるとの噂がある。

—道路工事と橋梁—

■**東京市道路局** の金子第二課長は東京市が從來試驗的に鋪裝した工費何れも一面坪當り30圓乃至50圓位の高價なりしを改むべく、今後の鋪裝は安價にて迅速なる一坪當り7圓位のものを採用方考中である由。

■**明治神宮奉養會** 外苑工事も九月一杯で殆ど完了するので十月十日竣成式を行つて解散に決定、その後の外苑維持には150,000圓の豫算で明治神宮外苑管理所を設置することになるらしい。

■**横濱市は** 今年末隣接二町七村を併合して大横濱を實現するので市を中心に縣下に大道路網を劃すべく目下縣と復興局で協力計畫中。

■**平山橋開通** 神奈川縣の與瀬三崎往還の平山橋は延長60間、工費36,000圓で難波組の請負にて完成せし由。

—工事雜件—

■**ハワイの大時計塔** がホノルル港の突端に、新設される報時球大燈光を備へ26哩の海上まで正しい時間を照射する、世界最大の裝置で完成までに九ヶ月かかる。

■**地震檢電機發明** ハワイ火山觀測所長ジャツガー

博士は地震發震の場所と時間とを豫知し得る地震檢電機を發明し特許出願準備中との報あり。

■**砂防工事** は植林と相待たざる可らずとの理由から農林省と内務省は其統一施行に付き種々研究交渉中である。

■**水火災害一束** 七月六日岡山縣下の豪雨被害、浸水田畑3,000町歩、家屋10,000戸、人家の倒壊又は流失150戸、山崩れの被害50戸。七月十日午前十一時頃香川縣後歌郡栗能村藥ヶ池の堤防豪雨のため決潰し流失家屋數10戸、人畜の行方不明多數。七月十日午前十時半青森市外青森燐寸會社より出火、折柄の烈風に忽ち300戸を焼失した。七月二十八日からの新潟縣下の豪雨は三十日に至り栃尾町を中心とする大洪水となり、浸水家屋1,600戸行方不明者百名、其他三條町、見付町等被害甚大、鐵道も不通となつた。

■**水害防止策** 新潟縣下の水害見舞に特派された政友會の竹内友次郎加藤友正兩氏は栃尾町を中心とする水害の原因は(一)守門岳その他の森林を伐採し過ぎて殖林が出来てゐない事(二)信濃川の治水に全力を盡し早出川その他支流の改修護岸工事を餘りに閉却した事等がその主要な點で、水害の復舊には栃尾だけでも約三百萬圓の低利資金を要すとの事である。

■**攻玉社専門學校** は同維持會々長工學博士近藤基樹氏の名により攻玉社出身者及び同後援者の協力に依り着々其運動を進めつゝあるが、何分6,000人近くの卒業生が明治初年以來、全國各方面土木技術の實務に當れる同校の事として、此運動は全國的に擴がり母校愛護の爲め後援會に醸成するもの激増せる由なり。

■**攻玉社維持會** の第二回寄附金報告の本年五月調べによれば牧野元次郎氏の5,000圓を初め、203名20,218圓にして累計寄附申込者370名、申込金額50,468圓餘なりと、尙ほ攻玉社が災後、府下大崎側ヶ谷に移轉して以來の入學者及び在學者の氣風は頗る良好にて生徒數も新錢座當時より一割餘を増加したる由最近發表せり。

